

▽2021年11月21日～11月22日の [Web報道紹介をワード整理版](#)

☆重度脳障害ある娘の記録 河田さん津で写真展

伊勢新聞 [2021-11-21](#)

<https://www.isenp.co.jp/2021/11/21/67388>

> 作家で写真家の河田真智子さん(68)=東京都目黒区=が重度の脳障害がある娘、夏帆さん(34)を撮影した写真展が、三重県津市美里町のギャラリー0369で開かれている。生後間もなくから今日まで多くの医療者らに支えられ生きる夏帆さんを捉えた29点を展示している。28日まで。24、25日は休み。午後1時～同6時。河田さんは島の魅力を紹介する作家業と並行して自宅で介護する夏帆さんを撮影し続け、平成16年に東京で写真展を開催。津市の写真家、松原豊さん(54)が同展を訪れたのを機に互いの作品を通じて交流を深め、松原さんが主宰する同ギャラリーでの個展が実現した。個展のタイトルは「医療への信頼」。仮死状態で生まれ保育器に入る姿や胃ろうチューブの交換で痛みに顔をゆがめる場面、くつろいだ表情でヘルパーに抱かれる様子など常に医療と共にある夏帆さんの日常を捉えている。

…などと伝えています。

☆娘の命 医療が救った 津で感謝の写真展

島旅作家・写真家 河田さん

読売新聞オンライン 三重 [2021/11/17](#)

<https://www.yomiuri.co.jp/local/mie/news/20211116-OYTNT50105/>

> 国内外の島を旅しながら暮らしぶりなどを紹介する「島旅作家」で、東京都在住の写真家、河田真智子さん(68)が、重度の障害のある娘と、娘を支え続ける医療関係者らの姿を記録した写真展「医療への信頼」が、津市美里町のギャラリー0369で19～28日に開かれる。コロナ禍の今だからこそ伝えたい医療関係者への感謝を表現しようと開催する。…略… 出品される作品は、仮死状態で生まれた夏帆さんの 分娩ぶんべん 室から始まる34年間の医療の記録だ。生後5か月から21歳までお世話になった主治医との出会いと別れ、気管切開のため手術室に向かう夏帆さんの姿、訪問医や訪問看護師による診療の様子など約25点が展示される。

…などと伝えています。

△河田真知子：写真集「医療への信頼」

2021年11月5日 初版発行（自主出版）

定価2000円（税+送料込み）

・ [国内販売申込み専用サイト](#) <https://shop.matsubara-yutaka.com/items/55430558>

☆医療的ケア児の学校生活イラスト（フリー素材）

【ダウンロード無料】 [2021年11月20日](#)

<https://unleash.or.jp/blog/2021/11/14363/>

[アンリーシュ](#) 医療的ケア児と家族に役立つメディア <https://unleash.or.jp/>

> イラストレーターのゆうこさんにご協力いただき、医療的ケア児の学校での生活をイラストにしています。こちらのイラストは【無料】【フリー素材】です。どなたでもお使いいただけるので、学校の資料作成など、ぜひご活用ください。随時追加していくので、ぜひ定期的にチェックをしてくださいね！

…などと伝えています。

☆ママが人生を諦めず生きられる社会に

医療的ケア児の母が写真展

毎日新聞 [2021/11/20](#)

<https://mainichi.jp/articles/20211119/k00/00m/040/411000c>

> 日常的に医療的ケアが必要な子（医ケア児）の母で東京都府中市の写真家、山本美里さん（41）が、学校での親の付き添いをテーマにした写真展「透明人間—Invisible Mom—」を26日から港区南青山3の「林和美写真画廊」で

開く。主に子どもの付き添いで感じた疑問や違和感などを自分の姿の写真などで表現している。介護や育児などの主な担い手とされる母親の普遍的な訴えでもあり、山本さんは「どんな子でも当たり前前に学校に通え、母親も人生を諦めずに生きられる社会になることを願っています」と話す。

- ・看護師がいても日中の付き添いが求められ
- ・「気配を消してください」と言われ
- ・学校との信頼関係の大切さ

展覧会では校内で撮影した8枚をパネル展示し、写真集も販売する予定だ。山本さんは「医ケア児の付き添いの現実を知らない人や、特別支援学校の先生にもぜひ見てもらい、保護者の思いを知ってもらえれば」と話す。

…などと伝えています。

☆医療的ケア児の情報提供

保育所や高校でも診療加算 厚労省検討

朝日新聞デジタル [2021年11月19日](https://digital.asahi.com/articles/ASPCM7D12PCMUTFL00F.html?iref=pc_ss_date_article)

https://digital.asahi.com/articles/ASPCM7D12PCMUTFL00F.html?iref=pc_ss_date_article

＞ たんの吸引や胃ろう、人工呼吸器といった医療的ケアが必要な子ども「医療的ケア児」について厚生労働省は、ケア児が通う保育所や高校の学校医らに診療情報を提供した医療機関に対し、診療報酬を加算する方針を固めた。義務教育の小中学校などに限っていた加算を拡充して、ケアの充実につなげるねらい。来年度からの実施をめざす。…略

… 医療的ケア児は全国に2万人超いとされる。厚労省によると、保育所が受け入れたケア児も年々増加しており、2019年度で533人。文部科学省の調査では、高校や特別支援学校の高等部に在籍するケア児は2181人いた。今年9月に施行された医療的ケア児支援法では、国や自治体に対し、学校などに看護師を配置するよう支援することが求められている。

…など伝えています。

△厚労省

[中央社会保険医療協議会](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00121.html) https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00121.html

総会（第498回）令和3年11月19日開催

* [【会議資料全体版】](https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/000856844.pdf) PDF 第498回総会資料 <https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/000856844.pdf>

- ・医療的ケア児、小児慢性特定疾病児の退院時服薬指導で提供する情報について P 2 6
- ・医療的ケア児の退院時に保険薬局等に「文書」で情報提供されている情報 P 2 7
- ・医療的ケア児、小児慢性特定疾病児の「お薬手帳」で提供した情報 P 2 8
- ・医療的ケア児に関わる主治医と学校医との連携 P 5 4
- ・医療的ケアが必要な児童等について、訪問看護ステーションから学校への情報提供に係る要件を見直すとともに、情報提供先に保育所及び幼稚園を含める。 P 5 5
- ・学校において医療的ケアが必要な児童生徒等の状況について① P 5 8
- ・学校において医療的ケアが必要な児童生徒等の状況について② P 5 9
- ・保育所等における医療的ケア児の受入れ状況の推移 P 6 0
- ・医療的ケア児保育支援事業【拡充】 P 6 1
- ・医療的ケア児保育支援モデル事業とりまとめ

<保育所等における医療的ケア児の受入体制整備に向けた取組状況(平成29～令和2年度)> P 6 2

- ・ 自宅への退院が困難な医療的ケア児に係る医療機関と行政機関の連携 P 6 4

……などが掲載されています。

☆【特集】「好きなものを食べ行きたいところに行く」

重度障がい者が病院や実家を出て

『自立生活』を選び見つけた自由の喜び

(MBS ニュース) - Yahoo!ニュース [11/19](#)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a6155ef231f4736eac86ae2eafcff82ec973987f>

> 遺伝子の変異により筋肉が徐々に衰える難病「筋ジストロフィー」などの重度障がいがある人たちが、病院や実家を出て『一人暮らし』をするための支援の輪が近年、少しずつ広がっています。一筋縄ではいなくても、生きる喜びを見つけるため「自立生活」を選ぶ人たち取材しました。。

…などと伝えています。

△【特集】「好きなものを食べ行きたいところに行く」

重度障がい者が病院や実家を出て

『自立生活』を選び見つけた自由の喜び

2021年11月18日放送 MBSテレビ [youtube](#)

「よんちゃんTV」内『コダワリ』より

<https://www.youtube.com/watch?v=d6ddUDhI3co>

☆筋ジス病棟、虐待疑われる実態 背景に職員の過酷労働

神戸新聞 総合 [2021/11/18](#)

<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202111/0014850627.shtml>

> 全国の国立病院機構の「筋ジストロフィー病棟」に約2千人の患者が入院している。幼少期から終末期まで何十年も過ごすことも珍しくない。障害者団体などが入院患者58人から聞き取り調査をすると、男性スタッフが女性患者の入浴を介助したり、排尿が最大2時間待たされたりするなど虐待とも取れる実態が浮上。背景には職員の過酷な労働環境があり、処遇改善を求める声も上がっている。

…などと伝えています。

☆医療的ケア児に新たな支援

大阪府 全国に先駆けコーディネーター育成

-大阪で進む医療的ケア児を支える新たな仕組み-

テレビ大阪 水曜トク特集 [2021/11/17放送](#) youtube

<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=qj96VMNrqY&feature=youtu.be>

> 「医療的ケア児」という言葉をご存知でしょうか。病気や障害があることで日常的に医療の支援が必要な子供たちのことです。2021年9月の法改正で、医療的ケア児とその家族を支える仕組みづくりが代わることになりました。今その中心的な役割をになう「人材の育成」が進んでいます。

…などと伝えています。

* 令和3年度

[大阪府医療的ケア児等コーディネーター養成研修](#)

<https://www.pref.osaka.lg.jp/chiikiseikatsu/shogai-chiki/iryotekicareco.html>

・ [大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課](#)

<https://www.pref.osaka.lg.jp/chiikiseikatsu/shogai-chiki/>

* [堺市医療的ケア児等コーディネーター養成研修](#)

<https://www.city.sakai.lg.jp/smph/kosodate/hughug/taishou/shogai/youseikensyu/index.html>

堺市健康福祉局障害福祉部障害支援課

・ [堺市：障害のある子ども](#)

<https://www.city.sakai.lg.jp/smph/kosodate/hughug/taishou/shogai/index.html>

* [障がい児・者 総合福祉施設ノーサイド](#)

<https://www.no-side-kaigo.com/>

* [ペガサス保育園つばさ](#)

<http://windhorse.or.jp/hoikuen/tsubasa.html>

☆「人工呼吸器はパートナー。呼吸器ではなく、

今を生きる一人ひとりを見て」

～バクバクの会 人工呼吸器とともに生きる～

JAMMIN (ジャミン) [2021/11/15](#)

https://jammin.co.jp/charity_list/211115-bakubaku/

> 人工呼吸器をつけて生活している人は日本に2万人ほどいるとされています。今週 JAMMIN がコラボするのは、1989年に立ち上がった、「バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～(旧：人工呼吸器をつけた子の親の会)」。

団体立ち上げ当初は、「(病院に備え付けの)人工呼吸器をつける＝一生病院から出られない」といっても過言ではなかった状況の中で、ポータブルの人工呼吸器が登場し、在宅の取り組みが少しずつスタートしました。そして現在、人工呼吸器をつけた人たちも学校に通ったり旅行にでかけたりと、地域の一員として暮らし、生活の範囲が拡大しています。しかし社会的な理解が得られず、さまざまなシーンで困難を強いられることがあるといいます。「人工呼吸器ではなく、その人個人を見てほしい」。活動について、会事務局の折田(おりた)みどりさん(60)と、平本美代子(ひらもと・みよこ)さん(70)にお話を聞きました。

…などと伝えています。

☆投票に行くのは無謀?揺れる母

重度知的障害の娘が一票を投じるまで

朝日新聞デジタル [2021年11月14日](#)

> 愛知県瀬戸市の池戸智美さんは、悩んでいた。2016年7月にあった参院選の時のこと。当時19歳の長女美優(みゆ)さんに、人生初の投票所への入場券が届いたのだ。美優さんには、先天性の重度の知的障害がある。字は書けず、声を出して話すことや指でさすことも難しい。政党の違いや選挙公約は「多分、理解できていないと思う」。身長は124センチと小柄で、前年までは投票所に行く子どもに間違えられて風船をもらうほど、幼く見られた。娘を、投票に連れて行ってもいいのだろうか――。

…などと伝えています。 その紙面 <http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20211114asahi.pdf>

<https://www.the-miyanichi.co.jp/kennai/58002.html>

> 日常的にたんの吸引などが必要な「医療的ケア児」を育てる宮崎、日向市の保護者でつくる2団体は12日、福祉サービスの拡充を求める陳情書を県に提出した。医療的ケア児に対し適切な支援を行うことを国や地方自治体の責務と規定した「医療的ケア児支援法」が9月に施行されたのを受けたもので、支援の地域格差の解消や、受け入れ施設の設置を求めた。

…などと伝えています。

☆病気や障害がある子の「きょうだい児」の思いを絵本に

6歳の園児が母らと出版 兄を慕いつつ寂しさも

東京すくすく [2021年11月5日付 東京新聞夕刊](https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/life/48862/)

<https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/life/48862/>

> 病気や障害のある子どもの兄弟姉妹「きょうだい児（じ）」の思いを伝えようと、横浜市西区の保育園児栄島一歩（えいしまかずほ）ちゃん（6つ）が、絵本「ぼくはチョコココネやさん」（生活の医療社）を母とともに出版した。作品では、がんの後遺症と闘う兄を慕いつつも「いつもお兄ちゃんばかり」と親の対応に寂しがったり、好物のチョコココネを母親と作って喜んだり、自身を模した姿が優しいタッチで描かれている。…略… 医療的ケアが必要な子どもが増加 きょうだい児の支援も必要 近年医療技術の進歩により、医療的ケアを必要とする子どもが増えている。その兄弟姉妹で親の手が届きにくい「きょうだい児」に対する支援の必要性を指摘する声が高まっている。

…などと伝えています。

☆娘の詩、語り続ける 震災関連死の松崎胡桃さんの

母・久美子さん 全国から反響「命の大切さを伝えたい」

熊本日日新聞社 [2021年11月08日](https://kumanichi.com/articles/461571)

<https://kumanichi.com/articles/461571>

> 重い心臓病だった松崎胡桃【くるみ】さん＝熊本市東区＝が、2016年の熊本地震の震災関連死で亡くなって5年。16歳だった。生前の胡桃さんは特別仕様のパソコンで自分の思いを表現しており、両親が詩集として出版。全国の障害児の家族らに反響が広がっている。「命の大切さを伝えたい」－。母の久美子さん（52）は学童保育の読み聞かせで詩集を取り上げ、懸命に生きた娘の「軌跡」を教訓として伝えている。

…などと伝えています。

☆山口県初！医療的ケアを必要とする児童を

公立保育園で受け入れ＝山口県長門市

時事ドットコム [2021年11月08日](https://www.jiji.com/sp/article?k=20211108Pr3&g=jump)

<https://www.jiji.com/sp/article?k=20211108Pr3&g=jump>

> 11月1日（月曜日）、山口県長門市のみのり保育園に恒常的に医療的ケアを必要とする児童が入園し、受け入れを開始しました。入園したのは、心臓や呼吸器などに障害があり、人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引やその他の医療行為を受けることが不可欠な3歳の児童です。これまでは、保護者が自宅で痰の吸引や鼻からの栄養の注入などのすべてのケアを行っていましたが、就職活動をするため、保護者が市へ保育園入園希望を伝え、市では受け入れに向けて準備を進めてきました。

…などと伝えています。

☆「うち是不幸で普通じゃないの？」

きょうだい児の次女が辿った心の軌跡

障害のある子と生きる家族が伝えたいこと

AERA dot. (アエラドット) [江利川ちひろ](#)

https://dot.asahi.com/columnist/profile/?author_id=erikawa_c

[2021/11/09](#) <https://dot.asahi.com/aera/2021110800058.html>

☆コラム：<<海と家族の風景>> 児玉真美 10回連載

> 重症心身障害のある海さんとの日々、家族として、母としての思いを、フリーライターの児玉真美さんがつづります。

①意思表示の「ハ」 色彩豊か

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/kodama01.jpg>

②よくぞここまで生きてきた 愉快的娘と濃密な日々

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/kodama02.jpg>

③セーターと遊び心 つらい日々だったはずが

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/kodama03.jpg>

④世間サマの「善意」 さりげない肩のたたき方

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/kodama04.jpg>

⑤予想外の「母の日」に 手紙に何を書こうか

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/kodama05.jpg>

⑥あの日のマジックアワー 親より先に残した足跡

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/kodama06.jpg>

⑦封じられる母たちの声 二つの思いに揺れながら

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/kodama07.jpg>

⑧オトナの女の1日 化粧水を買に行こう！

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/kodama08.jpg>

⑨うちの子が殺された 冷やかな世間の空気

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/kodama09.jpg>

⑩「親亡き後」を意識して 安心して逝ける社会願う

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/kodama10.jpg>

※こだま・まみ：1956年、呉市生まれ。京都大卒。

日本ケアラー連盟代表理事。著書に「海のいる風景」

「殺す親、殺させられる親」、「私たちは普通に老いることができない」など。

…などと伝えています。（共同通信取材：神戸新聞掲載を紹介）

☆病児の「今」を豊かに

横浜に「こどもホスピス」 医師が語る意義

毎日新聞 [2021/11/7](#)

<https://mainichi.jp/articles/20211106/k00/00m/040/312000c>

＞ 横浜市金沢区で21日、「こどもホスピス」がオープンする。小児がんなど重い病気や障害などを抱える子どもや家族たちが、遊んだり学んだりしながら、ゆったりと過ごすことができる施設だ。小児がん「脳幹部グリオーマ」で次女を亡くした田川尚登さん（64）がNPO「横浜こどもホスピスプロジェクト」を設立するなど、7年かけて支援の輪を広げた。国内ではまだ珍しい「こどもホスピス」。期待される意義や役割について、小児がんを患う多くの子どもの治療に当たり、同NPO理事として田川さんを支えてきた小児科医、柳澤隆昭さん（東京慈恵会医科大・脳神経外科学講座教授）に聞いた。

…などと伝えています。

☆病気や障害のある子の「きょうだい児」の思い絵本に

6歳の園児が母らと出版 兄慕いつつ寂しさも

東京新聞 [2021年11月5日](#)

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/141090>

＞ 病気や障害のある子どもの兄弟姉妹「きょうだい児」の思いを伝えようと、横浜市西区の保育園児栄島 一歩えいしまかずほちゃん（6）が、絵本「ぼくはチョココロネやさん」（生活の医療社）を母とともに出版した。作品では、がんの後遺症と闘う兄を慕いつつも「いつもお兄ちゃんばかり」と親の対応に寂しがったり、大好物のチョココロネを母親と作って喜んだり、自身を模した姿が優しいタッチで描かれている。

…などと伝えています。

☆人気医療漫画「リエゾン」が伝える、

ヤングケアラーのリアル

毎日新聞 [2021/11/7](#)

<https://mainichi.jp/articles/20211103/k00/00m/040/099000c>

＞ 子どもたちにどう分かりやすく伝えればいいのか――。政府が、家族の介護や世話を担う子ども「ヤングケアラー」の認知度向上を模索する中、厚生労働省が目にした漫画がある。青年漫画雑誌「モーニング」（講談社）で連載中の人気医療漫画「リエゾン」だ。児童精神科医らが発達障害や虐待など、さまざまな事情を抱える子や親と向き合う物語。今年6月から7月にかけてヤングケアラーを取り上げ、ストーリーは車いす生活の母の介護や家事で疲弊していく小6の女兒を軸に展開した。支援策を検討する政府のプロジェクトチームのヒアリングに招かれた作者2人に、作品に込めた思いなどを聞いた。

…などと伝えています

☆共働きと介護、綱渡りの6年

「家族頼みは限界」在宅支援、質の充実訴え

【西日本新聞 me】 [2021/11/4](#)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/826578/>

＞ 「家族が一人でも体調を崩せば、日常は成り立ちません」。小児の在宅医療体制を考える八女筑後医師会（福岡県八女市）主催の研修会があり、6年前にがんを発症し、医療的ケア（医ケア）が必要になったわが子と同県筑後市の自宅で暮らす共働きの夫婦が講演した。

…などと伝えています。 その[紙面](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/nishinippon20211104.pdf>

☆NHKEテレ ハートネットTV

[「食卓に、笑顔を～えん下食シェフの調理場～」](#)

2021年11月8日(月) 20:00～

> 病気や加齢で飲み込む力が弱くなり、食べたいものが食べられない。「食べる喜びを諦めさせたくない」と特製のえん下食を作る料理人が、山形にいる。延味克士(えんみ・かつし)さん。その腕で、さまざまな食材を安全で食欲をそそる料理へと変えていく。大切なお祝い事の食事、思い出の味の再現などあらゆるリクエストに応える。ある日入ったランチの注文。メインの料理は、えん下食には不向きな“イカ”。出来上がった料理とは!

…などと伝えています。再放送: 15日(月) 13:05～

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/program/heart-net/1905/>

☆NHKEテレ ハートネットTV

[「新型コロナ 障害者はいま」](#)

2021年11月9日(火) 20:00～

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/program/heart-net/1906/>

> 新型コロナの感染者数は急速に減少。規制が徐々に緩和され、私たちの生活は「日常」を取り戻しつつあります。一方で、重度の障害のある人や難病の人たちのなかには、いまま先の見えない不安と隣り合わせで暮らす人たちがいます。コロナ禍は、そうした人たちの生活にどのような影響を及ぼしてきたのか。障害のある人たちの暮らしを守るために必要とされる国や行政の支援とは何なのか。みなさんの声を交え、生放送で考えます。

…などと伝えています。再放送: 16日(火) 13:05～

☆障害者と社会つなぐ分身ロボ 東京のカフェ、福岡からも接客

【西日本新聞 me】 [2021/11/3](#)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/825951/>

> 車いすや寝たきりの生活を送る障害者がロボットを操作し、自宅から離れた店で接客する。そんなカフェが東京・日本橋に開店した。障害者だけでなく、介護などで外出が難しい人にも社会参画の機会を広げる狙いがある。九州に暮らす障害者の「分身」も働く店を訪ねた。

…などと伝えています。 [その紙面](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/nishinippon20211103.pdf>

☆「同じ子どもなのに・・・～医療的ケア児を支える場を～」

テレメンタリー | テレビ朝日 2021年10月24日(日) 放送

<https://www.tv-asahi.co.jp/telementary/backnumber/0095/>

> 全国で推計2万人いるとされる「医療的ケア児」。地域によって保育園や事業所など、受け入れ先は極めて限定的です。保護者の中には、約30もの保育園に受け入れを断られ、24時間子どもに付きっきりの状態となり、離職する人もいました。2021年6月「医療的ケア児支援法」が成立、9月、施行されました。法律には、家族が仕事を辞められないようにすることなどが盛り込まれています。「医療的ケア児」を育てる青森県内の家族の現状と課題を取材しました。 制作: 青森朝日放送

…などと伝えています。

△過去放送配信中 youtube [青森朝日放送 2021/10/30](#)

<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=bs3VAVU4kb4&feature=youtu.be>

△「同じ子どもなのに」

相次ぐ壁に心が折れる 医療的ケア児の母たち

朝日新聞デジタル [2021年10月27日](#)

<https://digital.asahi.com/articles/ASPBV3DZFPBSULUC00N.html>

> 「断られ続けると心が折れてしまうし、本当に絶望だよね」「絶望。自分だけ取り残されている。生きていること自体を否定されているような気になった」医療的なサポートが必要であることを理由に、子どもの保育所への受け入れを断られた経験のある、青森市の福土裕美さん（39）と青森県十和田市の鈴木直子さん（45）の会話だ。たんの吸引や栄養摂取など、医療的なケアが日常的に必要な子ども「医療的ケア児」は、全国で推計2万人超。青森県の事業所等実態調査によると、県内には166人（2020年度、推計）いる。医療技術の向上により、年々増加している。

…などと伝えています